

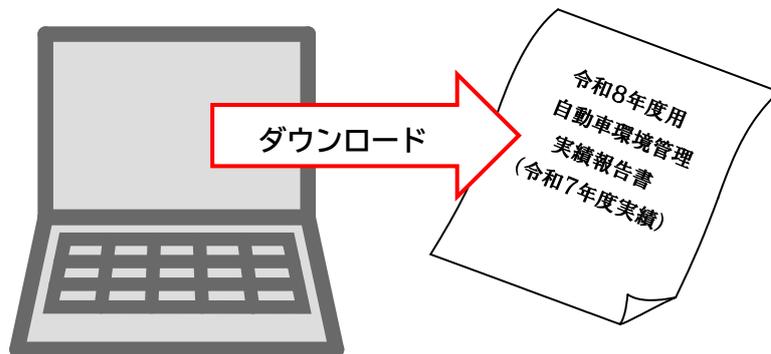
自動車環境実績報告書等
作成の手引き
(令和8年度提出用)

令和8年3月

千葉県環境生活部大気保全課

～はじめに～

- 昨年度から計算式が変更されていますので、必ず新しい Excel ファイル「令和8年度用様式」をダウンロードして、作成してください。



- 提出書類は、順番に審査させていただきます。審査にかなりのお時間をいただく場合がありますが、ご了承ください。
- 連絡事項シートは補足説明がある場合に利用してください。(形式自由)

目次

1. 制度の概要	- 1 -
2. 提出書類確認用フローチャート	- 2 -
3. 提出書類の種類と提出期限	- 3 -
(1) 自動車環境管理実績報告書	- 3 -
(2) 自動車使用管理状況報告書	- 3 -
(3) 自動車環境管理者選任届出書	- 3 -
(4) 自動車環境管理計画書変更届出書	- 3 -
(5) 非該当となった場合	- 4 -
4. 届出様式と提出方法	- 5 -
(1) 届出様式の入手方法	- 5 -
(2) 自動車環境管理実績報告書・自動車使用管理状況報告書様式について	- 5 -
(3) 自動車環境管理実績報告書等の提出方法	- 6 -
5. 自動車環境管理実績報告書の作成方法	- 7 -
A) 実績表紙	- 7 -
B) 実績事業所別	- 8 -
C) 実績自動車一覧	- 9 -
D) 実績代替	- 16 -
E) 実績措置	- 17 -
<エラー表示が出た場合>	- 18 -
Q & A	- 19 -
6. 自動車使用管理状況報告書の作成方法	- 20 -
Q & A	- 22 -
7. 自動車環境管理者選任・解任届出書の記入例	- 23 -
8. 自動車環境管理計画書変更届出書の記入例	- 23 -
【参考】実績自動車一覧作成方法	- 24 -

1. 制度の概要

【千葉県環境保全条例】

自動車の使用に伴う環境への負荷の低減を図るため、千葉県内で**特定自動車**^{※1}を30台以上使用している事業者（以下「**特定事業者**」とします。）は、千葉県環境保全条例に基づき、「自動車環境管理計画書」を提出する義務があります。

なお、この計画書の記載事項は、「自動車の使用に伴う環境負荷の低減を図るための指針」に基づいたものになります。

また、「自動車環境管理実績報告書」により、計画書に記載している事項についての実績を事業年度毎に報告する義務があります。

【自動車NOx・PM法】

特定事業者のうち、「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」（以下「自動車NOx・PM法」とします。）で規定する千葉県内の**対策地域内**^{※2}を使用の本拠として**特定自動車**を30台以上使用している事業者（**自動車運送事業者等**^{※3}は除く）は、自動車NOx・PM法に基づく「自動車使用管理計画書」を提出する義務があります。

また、「自動車使用管理状況報告書」により、計画書に記載している事項についての実績を事業年度毎に報告する義務があります。

※「自動車運送事業者」や「第二種貨物利用運送事業者」に該当する場合は所轄の運輸支局へ「自動車使用管理計画報告書」または「定期報告書」の提出をしてください。

（詳細や様式等については以下の関東運輸局 HP 参照）

URL : https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_koutu/kamotu/nox_pm/index.htm

※1 特定自動車とは

貨物自動車（1、4、6ナンバー）、乗合自動車（2ナンバー）、乗用自動車（3、5、7ナンバー）及び特種用途自動車（8ナンバー）

なお、軽自動車、二輪車、特殊自動車（0、9ナンバー）及び被けん引車を除きます。

※2 対策地域とは

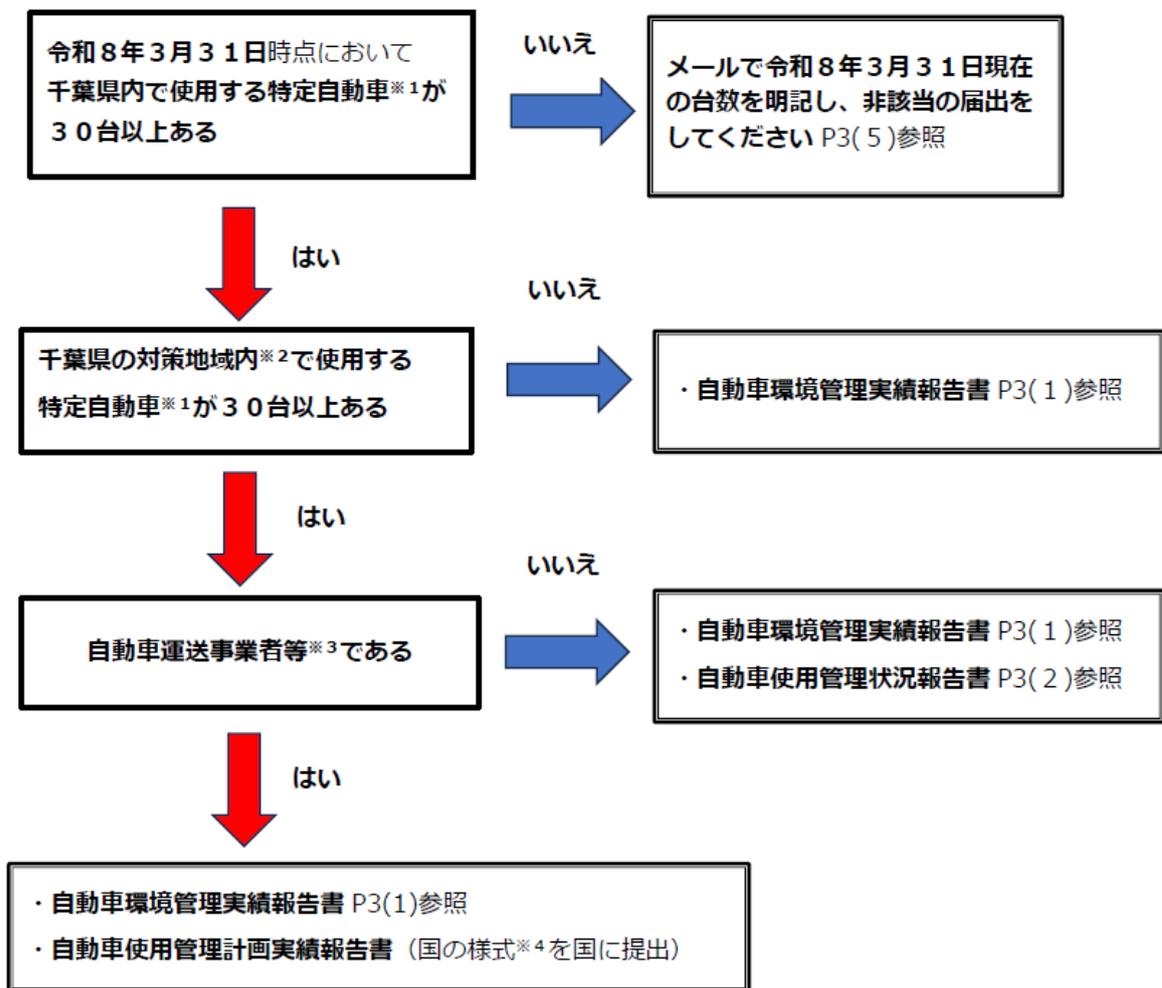
自動車NOx・PM法に基づく千葉県内の対策地域

千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、白井市

※3 自動車運送事業者等とは

道路運送法の規定による自動車運送事業者または貨物利用運送事業法の規定による第二種貨物利用運送事業者

2. 提出書類確認用フローチャート



※1 特定自動車：軽自動車・二輪車・特殊自動車（0，9ナンバー）以外の自動車

※2 対策地域：千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、白井市

※3 自動車運送事業者等：道路運送法の規定による自動車運送事業者
または貨物利用運送事業法の規定による第二種貨物利用運送事業者

※4 関東運輸局 HP（概要や様式等）：

https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_koutu/kamotu/nox_pm/index.htm

3. 提出書類の種類と提出期限

(1) 自動車環境管理実績報告書（千葉県環境保全条例【第55条の3】）

【対象となる事業者】

自動車環境管理計画書を提出し、年度末時点で千葉県内において特定自動車を30台以上使用している事業者。

【提出期限】

令和8年6月29日（月）

(2) 自動車使用管理状況報告書（自動車NOx・PM法【第34条】）

【対象となる事業者】

自動車使用管理計画書を提出し、年度末時点で千葉県内の自動車NOx・PM法対策地域内で特定自動車を30台以上使用している、**自動車運送事業者等以外**の事業者

【提出期限】

毎年6月30日

(3) 自動車環境管理者選任届出書（千葉県環境保全条例【第55条の5】）

「自動車環境管理計画書に記載された事項の実施状況の把握」等の職務を行う自動車環境管理者を選任又は解任した場合は、届出を提出してください。

【対象となる事業者】

自動車環境管理者を選任又は解任した特定事業者

【提出期限】

自動車環境管理者を選任又は解任した日から60日以内

(4) 自動車環境管理計画書変更届出書（千葉県環境保全条例【第55条の2】）

提出した自動車環境管理計画書の内容を計画期間途中に変更した場合は届出をしてください。詳細については大気保全課までお問い合わせください。

【対象となる事業者】

自動車環境管理計画書を提出した後、その内容に変更があった特定事業者

【提出期限】

自動車環境管理計画書の内容を変更した日から60日以内

(5) 非該当となった場合

令和8年3月31日時点で使用している特定自動車の台数が30台未満になった場合は、現在の台数と併せて非該当になった旨を、下記のEメールアドレス宛てご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県環境生活部大気保全課 自動車環境対策班

電話番号：043-223-3557

Eメールアドレス：car2@mz.pref.chiba.lg.jp

4. 届出様式と提出方法

<事前に準備いただくもの>

- ・前年度に提出した自動車環境管理実績報告書の Excel ファイル（令和7年度分）
- ・令和8年3月31日時点で使用している車両の車検証

(1) 届出様式の入手方法

様式については千葉県のウェブサイトからダウンロードができます。

タイトル:「**県内で30台以上の自動車を使用している事業者の届出義務**」

(URL : <https://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/jidousha/kankyoukanri/kankyoukanri.html>)

- 自動車環境管理実績報告書・自動車使用管理状況報告書 (同一ファイル)
- 自動車環境管理者選任(解任)届出書 (該当時のみ)
- 自動車環境管理計画書変更届出書 (該当時のみ)

(2) 自動車環境管理実績報告書・自動車使用管理状況報告書様式について

事業所数と自動車使用台数によって様式が異なりますので、該当する様式を選択してください。

① Excel 様式

- ① 事業所数 10 以下・台数 200 台以下
- ② 事業所数 10 以下・台数 1000 台以下
- ③ 事業所数 150 以下・台数 1000 台以下
- ④ 事業所数 100 以下・台数 5000 台以下

② PDF 様式 ※Excel 様式を開くことができない際にご使用ください。

- ・事業所数 10 以下・台数 200 台以下

※事業所数が 11 以上または台数が 201 台以上の場合は以下の様式を使用してください。

- ・実績事業所追加記入用
- ・実績自動車一覧追加記入用

(3) 自動車環境管理実績報告書等の提出方法

以下の①～③のいずれかの方法により**電子データ**で提出してください。
Excel を使用できる場合は、PDF 等に変換せずに **Excel のまま**提出してください。

① <Eメール>

様式を添付し、以下の件名でメールアドレスあてに送付してください。

メールの件名 自動車環境管理実績報告書等の提出

Eメールアドレス：car2@mz.pref.chiba.lg.jp

② <電子申請>

「ちば電子申請サービス」を利用して提出してください。

URL：<https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/>

手続き名：「千葉県環境保全条例」及び「自動車NOx・PM法」に基づく計画書・
報告書等について

※「ちば電子申請サービス」については以下のホームページをご覧ください。

URL：<https://www.pref.chiba.lg.jp/jousei/tetsuzuki/denshishinsei.html>

詳しい操作方法やご質問については、コールセンターにお問い合わせください。

【受付時間】 平日 9:00～17:00（年末年始除く）

固定電話：0120-464-119（フリーダイヤル）

携帯電話：0570-041-001（有料）

③ <郵送>

様式のファイルを CD-R・CD-RW・DVD-R・DVD-RW のいずれかに格納し、
郵送してください。（返却不可）

【送付先】 〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

千葉県環境生活部大気保全課自動車環境対策班（本庁舎 3 階）

5. 自動車環境管理実績報告書の作成方法

この手引きでは、Excel 様式を使用した作成方法について説明します。

報告書は、前年度末（3月31日）の自動車保有状況等に基づいて作成してください。

（※PDF 様式については別途お問い合わせください。）

A) 実績表紙

○ 自動車使用管理状況報告書提出 11	
	整理番号 B-○○○ 1
	令和 ○○年 ○○月 ○○日 2
千葉県知事 様	
〒	260 - 8667 3
住所	千葉市中央区市場町1-1
フリガナ	○○カブシキガイシャ
氏名又は名称	○○株式会社
代表者役職名 氏名	代表取締役 ○○ ○○
<small>（法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）</small>	
自動車環境管理実績報告書	
千葉県環境保全条例第55条の3の規定により、自動車環境管理実績報告を次のとおり提出します。	
特定事業者の氏名又は名称	○○株式会社 4
千葉県における主たる事業所の所在地	〒 260 - 8667 5 千葉市中央区市場町1-1
使用する自動車の台数	6 63 台
業種	8 その他のサービス業 番号 7 95
従業員数	9 100 人
自動車環境管理実績報告	別添のとおり
担当者の所属、氏名及び連絡先	所属 10 □□部△△課
	氏名 ○○ ○○
	電話 043-***-***
	FAX 043-***-***
	電子メールアドレス abcd @ efghijk.lm.com
※ 受付欄	
備考	※の欄には記載しないこと。

- ① 前年度に提出した報告書、または通知文書の封筒あて名に記載されている「A-」もしくは「B-」から始まる整理番号（半角英数字）を記入してください。
(整理番号を入力すると「実績代替」シートに前年度までの代替実績が反映されます。)
- ② 提出年月日を記入してください。
- ③ 特定事業者の情報を記入してください。
- ④ ③で記入した特定事業者の氏名又は名称を記入してください。
- ⑤ 主たる県内の特定事業所の所在地を記入してください。
- ⑥ 「実績自動車一覧」シートを記入すると自動で入力されます。
- ⑦ 産業分類表を参照し、業種番号を記入してください。
- ⑧ ⑦を記入すると自動で入力されます。
- ⑨ 自動車を使用していない事業所も含む県内全ての事業所の従業員数を記入してください。
- ⑩ 作成者の所属、氏名及び連絡先等を記入してください。
内容に不明な点等がある場合、県からご連絡することがあります。また、翌年度以降にも連絡が取れる電子メールアドレス（組織アドレス等）の記入をお願いいたします。
- ⑪ **自動車運送事業者以外**で自動車を対策地域内において30台以上使用している事業者には、報告書作成後に自動で「○」が入力され、「自動車使用管理状況報告書」シートに必要な情報が転記されます。

B) 実績事業所別

1 事業所別の自動車の状況

令和○年○月○日現在

事業所等の番号		計	1	2	3	4
事業所等の名称			① 本社	東葛飾支店		
事業所等の所在地			千葉市中央区市場町1-1	松戸市小根本7		
種類	車両総重量	計	台数	台数	台数	台数
普通貨物車	1.7t以下	1	1			②
	1.7t超～2.5t以下					
種自動車	3.5t以下					
	3.5t超	5	1	4		
乗用自動車		52	40	12		
合計		63	47	16		

- ① 車を使用していない事業所も含む県内全ての事業所の情報を記入してください。
- ② 「実績自動車一覧」シートに情報を記入すると自動で入力されます。

C) 実績自動車一覧

作成に当たっては「自動車検査証」をお手元に用意し、内容を確認しながら記入してください。エラーが表示されたときの対処法については、P18を参考にしてください。

昨年度のデータを貼り付けて作成することも可能です。詳細な作業方法についてはP24から掲載しています。

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月		自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報	型式・ナンバー変更の有無	変更前の型式・ナンバー情報	車両区分
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年					月	NOx・PM低減				
1	1	千葉	330	お	1111	H	21	10	乗用車(軽費用を除く)DBA	1,875	ガソリン				ナンバー変更	千葉330え1111	新☆☆☆☆
2	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特種車(それ以外)KK	5,030	軽油						他(軽油)
3	1	千葉	200	お	111	R	2	4	マイクロバスKC	5,255	軽油		あり(H17なし)				他(軽油)
4	1	千葉	339	お	7	H	24	2	乗用車(軽費用を除く)DBA	1,875	ガソリン			減車	型式変更	6BA	新☆☆☆☆
5	1	千葉	300	お	1	R	2	4	乗用車(軽費用を除く)DBA	1,875	ガソリン						新☆☆☆☆

自動車検査証

自動車登録番号又は車両番号	初度登録年月	自動車の種別	用途	型式指定番号	種類別番号
千葉 300 お 1	令和 2年 4月	普通	乗用	1900*	100*
車名		車体の形状			
スバル		ステーションワゴン			
車台番号		燃料の種類	総排気量又は定格出力		
GTE-O2***		ガソリン	1.99L		
型式	原動機の型式	前軸重	前後軸重	後軸重	後後軸重
5AA-GTE	FB20-MA1	900kg			630kg
乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量	長さ	幅
5人		1530kg	1805kg	406cm	180cm
高さ 155cm					

ハイブリッド車の場合は「ハイブリッド(ガソリン)or(軽油)」と記入。
プラグインハイブリッド車の場合は「プラグインハイブリッド(ガソリン)or(軽油)」と記入。

備考欄に「NOx・PM法対応変更有。」と記載があるとき選択。
「NOx・PM適合」の記載だけの場合は入力不要です。

① 事業所等の番号

「B) 実績事業所」で記入した情報を参照し、記入してください。

例) 本社で使用している車両の場合、「実績事業所」シートの事業所等の番号が「1」なので「実績自動車一覧」の事業者等の番号欄に「1」を記入

「実績事業所」

「実績自動車一覧」

1 事業所別の自動車の状況			
令和 ○年○月○日現在			
事業所等の番号	1		
事業所等の名称	本社		
事業所等の所在地	千葉市中央区市場町1-1		
種類	車両総重量	計	台数

2 自動車一覧					
番号	事業所等の番号	自動車登録番号			
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号
1	1	千葉	330	お	1111
2	1	千葉	800	お	110
3	1	千葉	200	お	111
4	1	千葉	339	お	7
5	1	千葉	300	お	1

② 自動車登録番号

令和8年3月31日現在の県内ナンバーの車両について、自動車登録番号を記入してください。昨年度報告からナンバーが変更されている場合は、「⑨型式・ナンバー変更」で説明している内容も参考にしてください。

<記入上の注意>

下記の誤りが見受けられますので、ご注意ください。

なお、基本的には下記のとおりに入力するとエラーメッセージが出ますが、昨年度データ等を「値」以外で貼り付けるとエラーメッセージが出なくなってしまうので、**データを貼り付ける際は必ず「値」で貼り付けてください。**(作業の詳細はP24にあります。)

【誤りの例】

- ①使用の本拠で「袖ヶ浦」または「袖ヶ浦」を混在して記載している
→「袖ヶ浦」と記載してください。(プルダウンでも「袖ヶ浦」となっています)
- ②分類番号、指定番号が全角になっている
→半角で入力してください。
- ③指定番号が4桁以外の番号で、頭に0もしくは数字以外の記号を入れている
→スペース等は入れず、車検証どおりの記載をしてください。

③ 自動車の種別

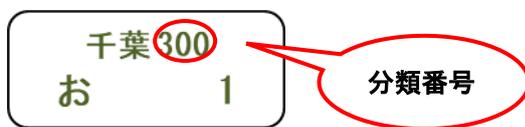
以下<ナンバー別種別一覧>を参考に自動車の種別を記入してください。

ナンバープレートの「分類番号」を入力すると該当の種別がプルダウンメニューから選択できるようになります。

2ナンバーと8ナンバーについてはプルダウンで2種類抽出されますので、どちらかを<ナンバー別種別一覧>を参考に選択してください。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号			初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車総量(k)	
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号 R:令和 H:平成 S:昭和	年				月
1	1	千葉	330	お	1111	H	21	10	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1.5
2	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特種車(それ以外)	KK	5.0
3	1	千葉	200	お	111	R	2	4	マイクロバス	KC	5.0
4	1	千葉	339	お	7	H	24	2	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1.5
5	1	千葉	300	お	1	R	2	4	▼		
6									乗用車(軽乗用を除く)		



①分類番号「300」を入力

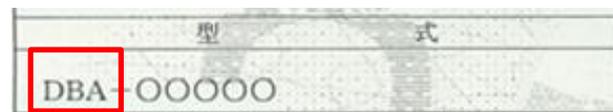
②プルダウンメニューを選択すると、「乗用車(軽乗用を除く)」が自動的に抽出され選択できます。

<ナンバー別種別一覧>

1 ナンバー	「普通貨物車」
3、5、7 ナンバー	「乗用車（軽乗用を除く）」
4、6 ナンバー	「小型貨物車」
2 ナンバー	「大型バス」（乗車定員が30人以上） 「マイクロバス」（乗車定員11人以上29人以下）
8 ナンバー	「特種車（乗用系）」（乗用車・バスをベースにしたもの） 「特種車（それ以外）」（バン・トラック等をベースにしたもの）
0、9 ナンバー	「特殊自動車」※報告対象外

④ 型式の識別番号

「型式」欄のハイフンより前のアルファベットや数字の1～3文字を記入してください。プルダウンメニューから選択もしくは半角入力できます。型式が変更されている場合は、⑨も参考にしてください。



⑤ 車両総重量

「車両総重量」欄の数値を記入してください。

※「車両重量」と間違えないように注意してください。

⑥ 燃料の種類

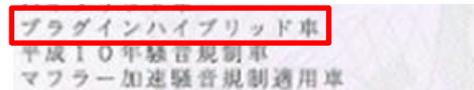
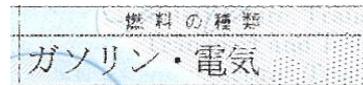
車検証の「燃料の種類」欄及び「備考欄」を確認し、<燃料の種類リスト>を参考に、該当する燃料の種類をプルダウンメニューから選択してください。

<燃料の種類リスト>

軽油	ガソリン
液化石油ガス(LPG)	天然ガス(CNG)
ハイブリッド(ガソリン)	ハイブリッド(軽油)
電気	燃料電池(圧縮水素)
メタノール	プラグインハイブリッド(ガソリン)
プラグインハイブリッド(軽油)	

※プラグインハイブリッド車で、燃料の種類が「ガソリン・電気」と記載されている場合は、「プラグインハイブリッド（ガソリン）」と記入。

(車検証備考欄の記載例)

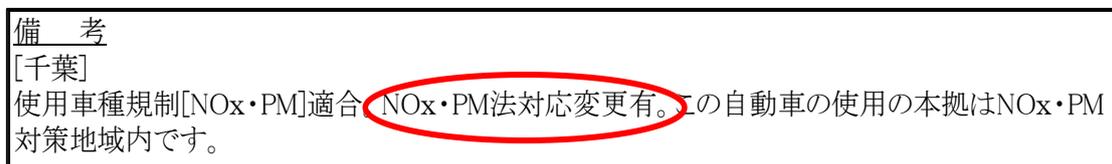


⑦ 排出ガス低減装置

装置を後付けしている車両について、下記のとおり記入ください。

■ NOx・PM 低減

下記のように車検証の「備考」欄に「NOx・PM 法対応変更有」等の記載があれば「あり」と記入してください。「NOx・PM 適合」の記載のみの場合は記入不要です。



■ P M低減

九都県市指定粒子状物質減少装置を装着している場合は「あり（H17あり）」または「あり（H17なし）」と記入してください。

なお、**車検証では装着確認が出来ない**ため、⑦装置装着証明書の有無もしくは①車両ステッカーの貼付で確認をしてください。

※装着した事業者によって書式は異なります。

⑦ <装置装着証明書例>

粒子状物質減少装置装着証明書			
装置メーカー	△△自動車株式会社		
装置名	□□□□	指定番号	○○○-C
車台番号	AA1ABC00001	装着年月日	平成20年6月30日
装着施工会社名・住所・電話番号		千葉市中央区中央○丁目○番地 ○○○株式会社整備工場 電話番号043-123-4567	

① <車両ステッカー例>



⑧ 新規または減車情報

記入表を参考に令和8年3月31日現在の減車した車両または新規追加した車両の情報を記入してください。

「減車」と「新規」とは？	
減車・・・	該当年度中に廃車・譲渡・リース（レンタル）の契約解除・名義変更・他県の事業所に「使用の本拠の位置」を移動した自動車
新規・・・	該当年度中に購入・リース（レンタル）の契約・名義変更・他県の事業所で使用していたが、県内に「使用の本拠の位置」を移し、使用している自動車

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	データ入力	新規または減車情報
ア	 令和7年3月31日から令和8年3月31日時点で継続使用中													入力	
イ	 令和7年3月31日～令和7年9月まで使用													入力	減車
ウ	 令和7年7月～令和8年3月31日時点で継続使用中													入力	新規
エ	 令和7年6月～令和7年12月まで使用													×	
オ	レンタルで1年ごとの契約更新の場合 同車両を令和7年4月1日から1年間のレンタル契約													入力	

⑨ 型式・ナンバー変更

年度内に型式・ナンバー変更もしくは前年度の実績報告書の記載に誤りがあった場合は、以下のとおりに記入してください。

- ① 「型式の識別番号」もしくは「自動車登録番号」の項目に令和8年3月31日現在の情報を記入してください。
- ② 「型式・ナンバー変更」の項目に「ナンバー変更」または「型式変更」と記入してください。プルダウンメニューから選択ができます。
- ③ 「変更前の型式・ナンバー情報」の項目に前年度の実績報告書に記載していた型式またはナンバーを記入してください。

<記入上の注意>

- ・減車分として報告する車両で、減車の前に型式及びナンバー変更している場合も、「型式・ナンバー変更」及び「変更前の型式・ナンバー情報」に記入してください。
- ・型式とナンバー両方変更している場合、「型式・ナンバー変更」はどちらかを選び、「変更前の型式・ナンバー情報」に旧型式及びナンバーを記入してください。

<例1>

型式を「6BA」→「DBA」と変更（修正）する場合

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車重量	型式・ナンバー変更の有無	変更前の型式・ナンバー情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号 R:令和 H:平成 S:昭和	年	月					
1	1	千葉	339	お	7	H	24	2	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	5	型式変更	6BA

型式に「DBA」と記入

型式・ナンバー変更に「型式変更」と記入

変更・修正前の型式「6BA」を記入

<例2>

ナンバー(文字)を「え」→「お」と変更（修正）する場合

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月	自動車の種別	型式・ナンバー変更の有無	変更前の型式・ナンバー情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号				
1	1	千葉	330	お	1111	H	乗用車(軽乗用を除く)	ナンバー変更	千葉330え1111

文字に「お」と記入

型式・ナンバー変更に「ナンバー変更」と入力

変更・修正前のナンバー「千葉330え1111」を記入

⑩ 車両区分

②～⑥を記入すると自動で入力されます。

※自動で入力されない場合は、②自動車登録番号～⑥燃料種類までの車両情報の組み合わせを再確認してください。

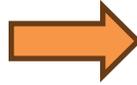
<例>

車種：乗用車(軽乗用を除く)

型式：DBA

総重量：1,875kg

燃料種類：ガソリン



車両区分：新☆☆☆☆

<車両区分の内訳>

低公害車	天然ガス、ハイブリッド、プラグインハイブリッド、新☆☆☆、新☆☆☆☆、新☆☆☆☆☆、新長期、新☆（新長期）、ポスト新長期、H28・30規制、電気、メタノール
低公害車ではない車両	その他（ガソリン・LPG）、その他（軽油）

以下の一覧も参考にしてください。（ハイブリッド・プラグインハイブリッド車以外）

（説明文中の「アルファベット3桁」とは、車検証の型式欄のハイフンより前のアルファベットまたは数字を表します。）

ガ ソ リ ン ・ L P G	新☆☆☆	アルファベット3桁で「C」、「M」、「4」から始まるもの	
	新☆☆☆☆	アルファベット3桁で「D」、「R」、「5」から始まるもの	
	新☆☆☆☆☆	アルファベット3桁で「6」から始まるもの	
	その他 (低公害車以外)	上記3つに該当しないもの	
軽 油	新長期	アルファベット3桁で下記3つ（新☆（新長期）、ポスト新長期、H28・30規制）に該当しないもの	
	新☆	アルファベット3桁で「N」、「P」、「B」から始まるもの（ステッカーは3種類有）	
	ポスト新長期	アルファベット3桁で「L」、「F」、「M」、「R」、「S」、「T」、「Q」から始まるもの	
	平成28年規制、 平成30年規制	アルファベット3桁で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」から始まるもの	
	その他 (低公害車以外)	上記4つに該当しないもの	

D) 実績代替

3. 自動車の低公害車等への代替状況及び自動車に対する排出ガス低減装置装着状況

	計画作成時の台数 令和 年月 年 日現在	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			合 計			
		減少台数	新規使用台数	合計	減少台数	新規使用台数	保有台数													
天然ガス自動車	①																			
ハイブリッド自動車																				
プラグインハイブリッド自動車																				
燃料電池自動車																				
合 計																				
うち低公害車の合計																				
排出ガス低減装置装着車の合計																				

①には昨年度報告の情報、②③は「実績自動車一覧」の減少台数及び新規使用台数を元に自動で情報が入力されますので、入力不要です。

なお、セルが黄色に着色され赤字になっている場合は、「実績自動車一覧」シートの情報に不備がある可能性があります。「新規車両や減車車両に情報を記入していない」・「昨年度報告のあった車両の記載が漏れている」といった場合が考えられますので、昨年度の実績報告書と今回作成した実績自動車一覧を改めて確認してください。

E) 実績措置

4 自動車に係る適正運転の実施等に関する実施状況及び自動車の走行量削減のための措置に関する状況

計画事項	計画の有無	実施項目	内容
適正運転の実施等に関する	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布
			○ エコドライブに関する教育、訓練の実施
車両の維持管理	あり	○	エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)
			○ アイドリングストップの徹底
			デジタル式運行記録計等の活用
			優秀ドライバーの表彰
			その他()
		○	日常点検・整備マニュアルの作成、配布
		○	日常点検・整備に関する教育、訓練の実施
		○	日々の始業点検・定期点検の完全実施
		○	エアークリーナーの定期的な点検
物流施設に関する	なし		既存施設の機械化・自動化など
			荷受け、仕分け業務の効率化のための物流拠点の整備
その他	なし		荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備
			路上駐停車の自粛
			その他()
			ISO14001の認証を取得
			エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得
			グリーン経営認証の取得
			環境報告書の作成
			その他()
上記についての特記事項 (独自の取組について記載してください)			

「アイドリングストップの徹底」について

千葉県の条例では、駐停車中のエンジンの停止が義務付けられています。

計画項目の内容に「アイドリングストップの徹底」と記載がありますので、運転者に「**自動車**
を駐車または停車する際、エンジンを停止する」ということの周知を徹底してください。

①実施項目

該当する実施項目に「○」を入力してください。

また、各計画事項で実施項目以外に取り組む内容がある場合は、その他に具体的な内容を記入してください。

②実施の有無

①で「○」を選択すると自動的に「あり」と入力されます。

<エラー表示が出た場合>

実績表紙・実績自動車一覧・実績代替のシートにおいて、**未入力の場合はセルの色が赤色**に変わります。

また、**修正が必要な場合にはセルの色が黄色に変わり、文字が赤字**になりますので、下記のとおり修正してください。

シート名	セル名	原因	エラーの解除方法
実績表紙	整理番号	数字のみ入力	半角アルファベット大文字、ハイフン数字を入力
実績自動車一覧	ナンバープレート	重複	不要な方を削除（同年度内に複数の事業所で使用していた場合は、年度末に保有していた方を残す。）
	指定番号	数字の前に0や数字以外の記号を入力した	ナンバープレートの数字のみを入力、0001の場合は1と入力。「*」などの記号も不可
	初度登録（年・月）	未来日を入力した	車検証を参考に入力
	自動車の種別	異なる種別を入力した	セルをクリックし、候補に出てきた種別から選択
	燃料種類	燃料の選択に誤りがある	車検証を確認の上、正しい燃料種類を選択（プラグインハイブリッド車の場合は、ハイブリッドではなくプラグインハイブリッドを選択）
	後付け装置	不要の型式に「あり」と入力した	Delete ボタンで削除し、空欄に戻す
	車両区分	自動入力されない	自動車登録番号～燃料種類までの車両情報の組み合わせに誤りがないか再確認する
実績代替	保有台数	年度合計と保有台数の合計の不一致	実績自動車一覧シートを再度確認し、修正する

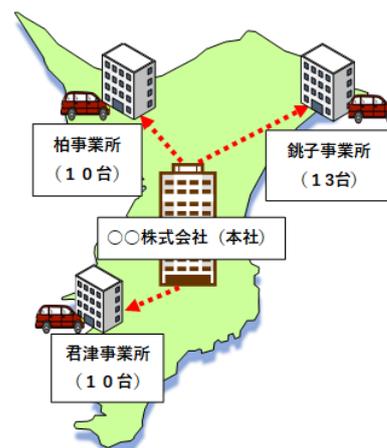
※上記のエラー解除方法で修正できなかった場合は、お問い合わせください。

自動車環境管理実績報告書 Q&A

Q 1. 事業所が複数あり、各事業所の使用台数が 30 台未満の場合、提出は必要ですか？

A 1. 事業所ごとの使用台数が 30 台未満であっても県内にある事業所の使用台数が合計 30 台以上であれば提出が必要です。

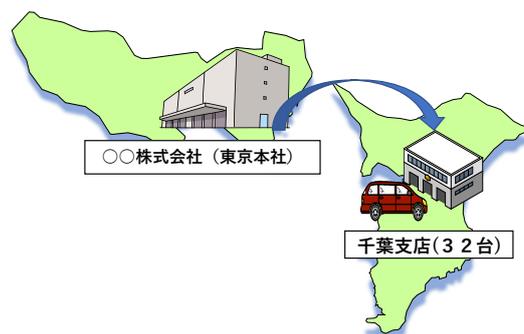
例) 柏事業所 (10 台) 銚子事業所 (13 台)・君津事業所 (10 台) の合計で 33 台使用している
→**提出が必要** (右図参照)



Q 2. 本社が県外の場合、提出は必要ですか？

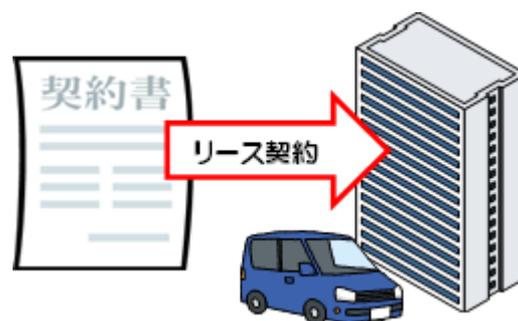
A 2. 他県に本社があっても、県内に事業所があり、車検証の「使用の本拠の位置」が県内の場合は対象となります。

例) 東京に本社があるが、千葉支店で 32 台使用している
→**提出が必要** (右図参照)



Q 3. リース (レンタル) の車両は対象になりますか？

A 3. 車検証の「使用の本拠の位置」が千葉県内の場合、対象車両となります。ただし、令和 8 年 3 月 31 日現在で契約している場合に限りです。



Q 4. 車検証の「使用者」と「所有者」が異なる場合、報告の対象となるのはどちらですか？

A 4. 原則として車検証の「使用者の氏名または名称」欄で判断します。この欄が* の場合は自動車の登録上、使用者と所有者が同一ということですので、登録上の所有者が報告してください。

Q 5. 会社が分社化した場合、どのように手続きすればよいですか？

**A 5. 会社が分社化した場合、それぞれの会社が使用している自動車の合計台数で判断します。
合計が 30 台以上の会社は新たに自動車環境管理計画書を提出してください。**

Q 6. 自動車環境管理者と実務担当者が異なる場合、実績表紙の担当者及び連絡先欄はどのように記載すればよいですか？

A 6. 実績表紙シートには実務担当者の情報を入力してください。行政書士等に委託した場合は連絡事項シートに行政書士等の氏名、連絡先を記載してください。

6. 自動車使用管理状況報告書の作成方法

自動車 NOx・PM法で規定する千葉県内の対策地域内を使用の本拠として特定自動車を30台以上使用している自動車運送事業者等以外の事業者は、自動車NOx・PM法に基づく「自動車使用管理状況報告書」を提出する義務があります。

○ 実績表紙

「自動車環境管理実績報告書」の作成後、「自動車使用管理状況報告書」の提出が必要な事業者には、「実績表紙」に「○」が入力され、「使用状況表紙」シートに**必要な情報が自動で反映**されます。

<input checked="" type="checkbox"/>	自動車使用管理状況報告書提出		整理番号	B-〇〇〇	
			令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
千葉県知事 様					
		〒	260	-	8667
住所	千葉市中央区市場町1-1				
フリガナ	〇〇カブシキガイシャ				
氏名又は名称	〇〇株式会社				
代表者役職名 氏名	代表取締役 〇〇 〇〇				
(法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)					
自動車環境管理実績報告書					
千葉県環境保全条例第55条の3の規定により、自動車環境管理実績報告を次のとおり提出します。					
特定事業者の氏名又は名称	〇〇株式会社				
千葉県における主たる事業所の所在地	〒	260	-	8667	千葉市中央区市場町1-1
使用する自動車の台数	63	台			
業 種	その他のサービス業	番 号	95		
従 業 員 数	100	人			
自動車環境管理実績報告	別添のとおり				

○ 使用状況表紙

台数は対策地域内の数値が自動で入力されます。台数以外の項目は、「使用状況表紙」シートの内容が反映されますので、誤りがないかご確認ください。

第二号様式(第二条)

整理番号	B-〇〇〇
------	-------

令和 年 月 日

千葉県知事 様

〒	260 - 8667
住所	千葉市中央区市場町1-1
フリガナ	〇〇カブシキガイシャ
氏名又は名称	〇〇株式会社
代表者役職名 氏名	代表取締役 〇〇 〇〇

(法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理状況報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第34条の規定により、特定自動車の使用管理状況を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称	〇〇株式会社		
千葉県における主たる事業所の所在地	〒: 260 - 8667 千葉市中央区市場町1-1		
使用する自動車の台数	47	台	
業 種 名	その他のサービス業	番 号	95
従 業 員 数	30	人	
自動車使用管理状況	別添のとおり		
担当者の所属、氏名及び連絡先	所 属	<input type="checkbox"/> 部△△課	
	氏 名	〇〇 〇〇	
	電 話	043-***-***	
	FAX	043-***-***	
	電子メールアドレス	abcd @ efghijk.lm.com	
※ 受付欄			

備考
※の欄には記載しないこと。

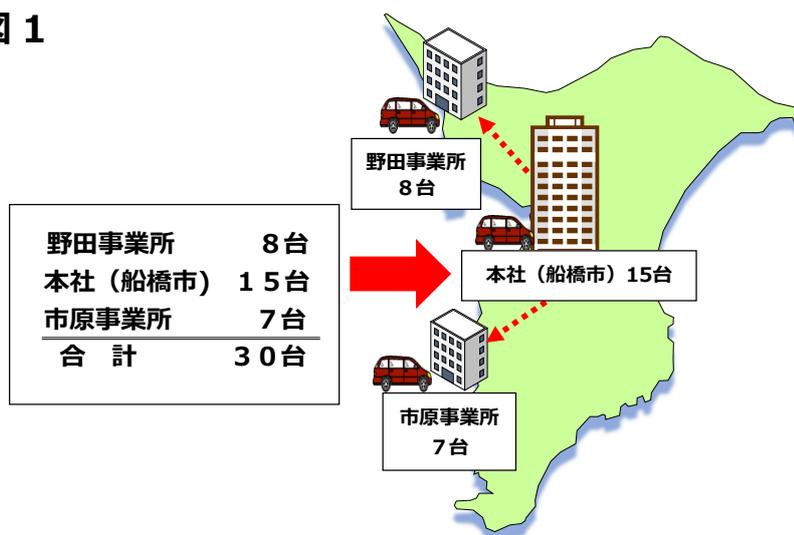
自動車使用管理状況報告書 Q&A

Q 1. どのような場合に自動車使用管理状況報告書を提出する必要がありますか？

A 1. 自動車運送業等以外の事業者で、車検証の「使用の本拠の位置」が千葉県内の**対策地域**となっている自動車の合計が**30台以上**の場合は**提出が必要**です。

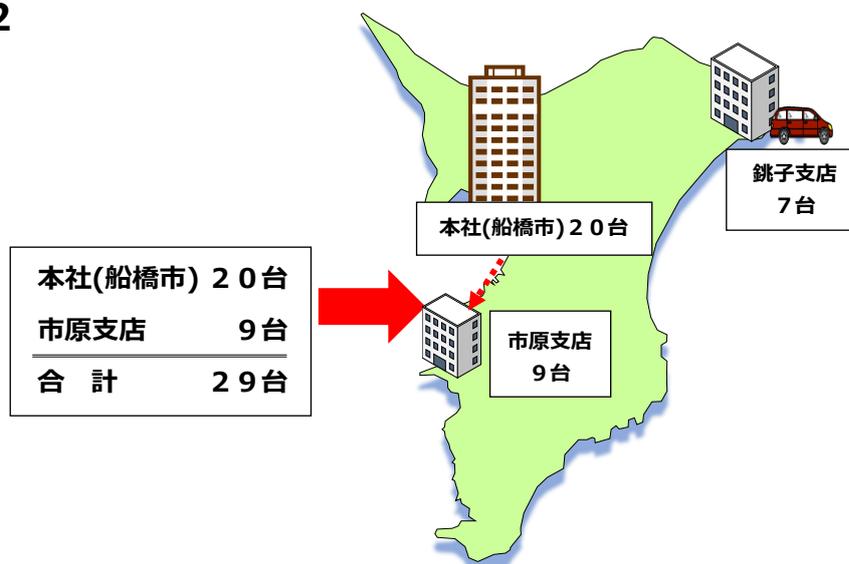
例 1) 野田事業所 (8台)・本社 (15台)・市原事業所 (7台) の合計で
30台使用している
→**提出が必要** (下図 1 参照)

図 1



例 2) 本社 (20台)・市原支店 (9台)・銚子支店 (7台) で使用している
→**提出不要** (下図 2 参照)

図 2



Q 2. 昨年度まで対策地域内の合計台数が30台未満で、今年度初めて合計台数が30台以上になった場合、どのようにすればよいですか？

A 2. 別途自動車使用管理計画書が必要となりますので、**大気保全課**までご連絡をお願いします。

7. 自動車環境管理者選任・解任届出書の記入例

記入例 年 月 日

千葉県知事 様

〒260-8667
住 所 千葉市中央区市場町1-1

氏 名 ○○○○ 株式会社
代表取締役 □□ △△
(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

自動車環境管理者 **選任** 届出書
解任

千葉県環境保全条例第55条の5第2項の規定により、自動車環境管理者を次のとおり
選任 しましたので届け出ます。
解任

自動車環境管理者	選任 解任	年月日	年月日	選任 解任	事由
	所属	総務部総務課			(例) 新規選任のため。
	氏名	△△ ○○			
自動車環境管理者	選任 解任	年月日	年月日	選任 解任	事由
	所属				
	氏名				
連絡先	総務部総務課 ○○ ○○ (電話 043-000-0000) (FAX 043-000-0000) (e-mail abcdefgh.ijk.lm)				
※ 受付欄					

備考 ※印の欄には記載しないこと

自動車環境管理者を選任する際に届出をしてください。

自動車環境管理者とは・・・

- ① 自動車環境管理計画書について実施状況を把握している
- ② 自動車の運行等に従事する者に指導及び助言をしている
- ③ 自動車の使用に伴う環境負荷の低減するための業務をしている

8. 自動車環境管理計画書変更届出書の記入例

記入例 年 月 日

千葉県知事 様

〒260-8667
住 所 千葉市中央区市場町1-1

氏 名 ○○○○ 株式会社
代表取締役 □□ △△
(法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

自動車環境管理計画書変更届出書

千葉県環境保全条例第55条の2第3項の規定により、自動車環境管理計画の変更を次のとおり届け出ます。

特定事業者の氏名又は名称	○○○○ 株式会社
特定事業者の所在地	千葉市中央区市場町1-1
変更した事項	(例) 本社の所在地 事業所の追加 支店の廃止
変更の理由	(例) 本社の移転による 会社の吸収合併(吸収分割)による
変更後の自動車環境管理計画	□別添のとおり ✓添付なし(計画書の数値には変更ありません) *該当する方に✓を入れる
変更年月日	年 月 日
連絡先	総務部総務課 ○○ ○○ (電話 043-000-0000) (FAX 043-000-0000) (e-mail abcdefgh.ijk.lm)
※ 受付欄	

備考 ※の欄には記載しないこと

下記の例のように、自動車環境管理計画書の内容に変更あった場合は届出が必要となります。

- 例) 氏名又は名称の変更
所在地の変更
分社化・合併
使用車両の大幅な増減など

なお、変更内容によって自動車環境管理計画書の提出が必要になる場合があります。

詳細については大気保全課までお問い合わせください。

TEL : 0 4 3 - 2 2 3 - 3 5 5 7

～実績自動車一覧シートの作成方法～

ステップ 1

前年度に提出した自動車環境管理実績報告書の「事業所コード」～「車両追加情報」までを選択し、貼り付ける。(下図のように「値」を選択)

前年度提出済の実績排出量シート

番号	事業所コード	ナンバープレート				初度登録年月			自動車の種別	型式	車両総重量(kg)(B)	燃料種類	後付け装置	
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号 R:令和 H:平成 S:昭和	年	月					NOx・PM低減	PM低減
1	1	千葉	300	お	1	R	2	4	乗用車(軽乗用を除く)	5AA	1,805	ハイブリッド(ガソリン)		
2	1	船橋	346	お	2	H	24	6	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン		
3	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特種車(それ以外)	KK	5,030	軽油	あり(H17あり)	減車
4	1	千葉	200	お	111	H	16	7	マイクロバス	KC	5,355	軽油	あり(H17なし)	3,900 1,000
5	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)	ZAA	1,705	電気		新規 2,700 0

メニューの検索

- 切り取り(I)
- コピー(C)**
- 貼り付けのオプション:
- 形式を選択して貼り付け(S)...
- スマート検索(L)

①「事業所コード」から「車両追加情報」までコピーする。

今年度提出予定の実績自動車一覧シート

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置	
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号 R:令和 H:平成 S:昭和	年	月					NOx・PM低減	PM低減
1														
2														
3														
4														
5														

メニューの検索

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付けのオプション:
- 値(V)選択**
- 形式を選択して貼り付け(S)...
- コピーしたセルの挿入(E)...

②「事業所コード」から「車両追加情報」までの値を貼り付ける。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号 R:令和 H:平成 S:昭和	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
1	1	千葉	330	お	1	H	21	10	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
2	1	船橋	346	お	2	H	24	6	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			減車
3	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特種車(それ以外)	KK	5,030	軽油	あり(H17あり)		減車
4	1	千葉	200	お	111	H	16	7	マイクロバス	KC	5,355	軽油	あり(H17なし)		
5	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)	ZAA	1,705	電気			新規

③値が入力されます。

ステップ2

新規または減車情報の▼をクリックし、前年度における車両追加情報の「減車」を抽出する。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
1	1	千葉	330	お	1	H	21	10	乗用車(軽乗用を除く)						新規または減車情報
2	1	船橋	346	お	2	H	24	6	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			減車
3	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特种車(それ以外)	KK	5,030	軽油	あり(H17あり)		減車
4	1	千葉	200	お	111	H	16	7	マイクロバス						新規
5	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)						新規

② 「減車」をチェックする

③ 「OK」をクリック

④ 「減車」だけを抽出

ステップ3

抽出した減車情報の「事業所等の番号」～「新規または減車情報」までを「Delete」キーで削除する。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
2	1	船橋	346	お	2	H	24	6	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			減車
3	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特种車(それ以外)	KK	5,030	軽油	あり(H17あり)		減車

① 「Delete」キーで削除

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
2															
3															

ステップ4

新規または減車情報の をクリックし、前年度における「新規」を抽出。「Delete」キーで「車両追加情報」の「新規」を削除し空欄にする。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
2															
3															

① 「車両追加情報」のここをクリック



2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
5	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)	ZAA	1,705	電気			新規

② 「新規」をチェックする

③ 「OK」をクリック



④ 「新規」だけを抽出

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
5	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)	ZAA	1,705	電気			新規

⑤ 「Delete」キーで削除

⑥ 「車両追加情報」のここをクリックし、「すべてを選択」をチェックしクリック

ステップ5

今年度に提出する情報を入力し完成。

2 自動車一覧

番号	事業所等の番号	自動車登録番号				初度登録年月			自動車の種別	型式の識別番号	車両総重量(kg)	燃料種類	排出ガス低減装置		新規または減車情報
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号	元号	年	月					NOx・PM低減	PM低減	
1	1	千葉						0	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
2	1	千葉						7	マイクロバス	KC	5,255	軽油			
3	1	千葉	302	ん	1	H	27	8	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
4	1	船橋	346	お	2	H	24	6	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
5	1	千葉	800	お	110	H	15	3	特種車(それ以外)	KK	5,030	軽油			
6	1	千葉	332	お	6	H	20	7	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			減車
7	1	千葉	339	お	7	H	24	2	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
8	1	千葉	330	ん	8	H	18	6	乗用車(軽乗用を除く)	CAA	2,440	ガソリン			
9	1	千葉	337	ん	9	H	20	7	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
10	1	千葉	363	ん	10	H	24	2	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,875	ガソリン			
11	1	千葉	538	ん	14	H	24	2	乗用車(軽乗用を除く)	DBA	1,475	ガソリン			新規

⚠ 車両を他の事業所等に変更した場合、番号の変更にご注意

② 減車車両は「新規または減車情報」に「減車」を入力

③ 新規使用の車両のデータを入力